

つくばの第2ステージへ 「子育て、介護、しごと」 ワーク・ライフ・バランスを推進



ごあいさつ

つくば市議会議員の山本みわです。

皆様にはいつも応援いただきありがとうございます。

本年は5月につくば市でG7科学技術大臣会合が開催される一方、研究機関の県外移転の懸念も残る中、公務員宿舎の廃止によるまちづくりの方向性が問われています。

つくば市の人口は現在22万人を超えており、この先の人口ビジョンについても、県内他自治体では急激に減少していくのに対し、増加予測がされています。しかし、これらの推計はあくまでも現状の研究機関が維持された場合であって、今後は、根幹が揺るがされる可能性も考えながら、自立していける都市づくりをしていかなければならないと考えます。

(つくば市 HP⇒人口ビジョン <https://www.city.tsukuba.ibaraki.jp/14278/14658/018904.html>)

【参考数値】

市街地人口12万1600人(55%) 市街化調整区域人口9万9500人(45%)
市街地人口のうち 研究学園都市7万1400人 TX沿線開発地域1万9600人
既成市街地(旧村)3万600人

公共施設の老朽化対策、少子高齢化に対応すべく福祉支援の早急な体制づくり、防災対策、環境保全等、喫緊の課題に着手しなければなりません。中でもまちを支える働く世代のワークライフバランスを推進するための政策に、積極的に取り組んでまいりたいと思います。

また、今年には11月に任期満了を迎えます。2期8年めの議員活動、やり残しの無いように皆様とのお約束を果たせるように一日一日を全力で頑張ってまいります。

新しい年が、皆様にとって素晴らしい一年となりますよう、ご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

山本みわ “タウンミーティング”

みなさんと、議会の話やまちづくりなどアットホームにお話する市政報告会です。

途中参加、退出自由です。気軽にお越しください。



【1月】

平成28年1月27日(水)19:00～20:30

松代交流センター2階会議室

テーマ:「総合運動公園について」

【2月】

平成28年2月24日(水)19:00～20:30

松代交流センター2階会議室

テーマ:「28年度予算について」

関東・東北豪雨による鬼怒川破堤 常総市水害

今なお復旧途中で、避難先にて年越しをされた方が大勢いらっしゃいます。被災された皆様にご心よりお見舞い申し上げます。

9月10日の発災時には、常総市からの避難者を受け入れる豊里交流センターへ向かい、つくば市職員と共に避難所立ち上げに全力。全5回のつくば市災害対策本部会議に出席し、その後移行した「つくば市鬼怒川被災地支援本部」会議にも出席し、意見・要望を直接反映させました。(テレビ設置・携帯充電器設置・入浴体制・外国人支援など) また、被災地ボランティア活動にも率先して参加し、被災家屋の家財撤去、泥のかき出し、清掃等できることを精一杯させていただきました。



筑波山への太陽光発電建設は景観・自然 損ねると地元で反対運動。現地調査実施。

筑波山中腹で現在進められている太陽光発電施設の建設計画4カ所(うち3カ所は国定公園内)。メインの山道沿いでは無許可で伐採が行われたところもあり、気づいた方もいるでしょう。沢の源泉近くや、大規模開発もあり、自然環境面・景観面等で大きな影響が懸念されます。山本みわも地元区長さんと共に現地調査を実施。再生可能エネルギー化を推進する一方で、条例改正前の駆け込み開発とも言われ、民地とはいえ山林への設置は全国的に問題になっている事例も多くあります。国・県・市への働きかけと今後の規制に関する条例整備を進めます。

「総合運動公園に関する調査特別委員会」 を議会として設置。副委員長に就任。

昨年は、つくば市としても大きな局面を迎え、総合運動公園基本計画をめぐる議論展開、つくば市初の住民投票が実施されました。住民投票で反対が8割を占め、計画は白紙撤回されました。

今回の12月定例議会において、議会として「つくば市総合運動公園に関する調査特別委員会」を設置しました。総合運動公園基本計画について、これまでの進め方をしっかり振り返り、検証し、未来に向かってこれからをどうしていくのか、今後のスポーツ施設のあり方を探っていきます。そして、このたび特別委員会の副委員長の役を仰せつかりました。つくば市議会基本条例で定めた、政策討論の場として議会の機能を果たし、市民の皆さんに応える一歩前進の議論の場となるよう尽力したいと思います。



平成27年12月議会

山本みわ 議会質問より



質問

つくばセンター・ターミナルビル「BiVi」について

9月にオープンした「BiVi」1階の観光案内所と2階の交流サロンを、情報発信を役割としたシティプロモーションの拠点にとのことでしたが、“場所がわかりにくい”“来訪者の動線上にない”“自習室になっている”などの意見もある。コンセプト・ターゲットを再度明確にして、人材確保・体制づくりをすべきではないか。

答弁

シティプロモーションの最前線の拠点として、改めて検証し、従来のような展示に頼らず、デジタルサイネージの導入や、サイエンスカフェ・講演会など人の集まる仕組みづくりをしていきたい。また、課題を整理し取り組んでいきたい。

質問

「国際化」の取り組みについて

来年の G7 科学技術大臣会合開催、MICE 推進など国際会議開催されるつくば市に求められる「国際都市」としてのまちづくりは待ったなしの状況。環境整備の課題は整理されているのに責任をもって進めるのは誰なのか。公務員宿舍の削減や研究機関の移転問題は、つくば市の人口ビジョンを大きく変える可能性がある。「つくばでなければならない」絶対条件・特色を守るべきではないか。

答弁

つくば市では、他の自治体と違い研究機関や大学関係の外国人、留学生などが多いことから、日常生活を送るための支援とお子さん方の教育環境の整備、国際会議・イベントのサポートを、各部署連携を図りながら取り組んでいきたい。

そのためにも、27年度、市民部国際課を企画部企画国際課にしたところです。

質問

つくば ICT 教育(情報通信技術を活用した教育)について

つくばは、ICT 教育40周年を迎えた。全国初のコンピューター教育導入、先進的な取り組みにより注目されている。しかし、国が ICT 教育導入を本格的に取り組みはじめた今、つくばの機器整備状況は決して先進とは言えない。さらに市内においても、学校間格差は否めない状況。

だれが「教育日本一」を決めるのか。わが子に活かされ実感して初めて「教育日本一」といえるのではないか。

答弁

現在、教育用コンピューターは児童生徒7.7人に1台、電子黒板は3学級に1台の整備状況で国の目標水準に達していない。

特別支援教育での個別対応指導にも効果があり役立っている。つくばオンラインスタディでの個別学習システムは定評である。今後、電子黒板やタブレットの機器整備を計画的に進めるとともに、教員の ICT 教育指導力向上の研修を行って学級間格差がないよう努めたい

次回定例議会ご案内

2月24日（水）～3月18日（金）までの開催予定です。

会派代表質問：3月7日 一般質問：3月8・9・11日

本会議は傍聴やインターネット中継など行っていますので、ぜひご覧ください！

詳しくは、つくば市議会ホームページ <http://www.city.tsukuba.ibaraki.jp/667/index.html>

山本みわの実績

子育て

- ◆子育て総合支援センターに発達相談窓口の設置
- ◆放課後子ども教室の推進・実施
- ◆保育所・児童館など学校以外の児童施設における耐震診断と耐震改修を実現
- ◆子育てすくすくメール配信事業実施
- ◆小中学校各教室への冷房整備

地域

- ◆市報のポスティングによる全戸配付
- ◆犬のふんイエローカード
- ◆交流センター図書室の中央図書館分館化
- ◆中心市街地の防犯灯等の計画的な整備管理について、調査マップを作成

防災

- ◆地域との連携による学校の防災力強化推進事業の実施
- ◆災害時の情報伝達手段の整備(ラヂオ協定)
- ◆防災無線の一部導入

市政

- ◆財政の見える化(つくばの台所事情発行)
- ◆公共施設マネジメント導入

健康

- ◆女性特有のがん検診・がん対策の推進
- ◆高齢者肺炎球菌ワクチンの公費助成を実現
- ◆妊婦健診公費助成拡充
- ◆子どもの医療費助成、中学3年まで拡充



山本みわプロフィール

1969年12月 東京都練馬区生まれ
 都立大泉高等学校、創価大学教育学部児童教育学科卒業
 1992年 4月 学校法人創価大学事務局にて庶務課・広報課・企画課に従事
 1999年 4月 結婚を機につくば市へ居住
 2008年10月 つくば市議選で 2,602票をいただき初当選
 2012年10月 3,577票で再選を果たし、現在2期目。

公明党つくば支部副支部長
 文教福祉常任委員会 委員長(2013、2014年)
 総合運動公園に関する調査特別委員会副委員長
 安心安全調査特別委員会、議会活性化推進特別委員会所属
 国民健康保険運営協議会副会長、男女共同参画審議会委員
 子ども子育て会議委員、バースセンター評価委員、予防接種健康被害調査委員会委員

松代小学校父母と教師の会元会長、手代木中学校 PTA 現会長
 防災士、つくば環境マイスター受講生、よみきかせボランティア活動
 「いばらき防災士ネットワーク」「認知症の人と家族の会」
 「若年者社会参加支援普及協会アストリンク」(ひきこもり支援)

【生活信条】「笑顔と感謝」 【趣味】森林浴・文具本屋めぐり
 【家族】夫・一男(中2)・一女(小5)・実母の5人家族

